

第68回肝癌症例研究会（東京都） 病理診断科の樺澤は『リング状の造影効果を呈するlymphoepithelioma-like cholangiocarcinomaの一例』を発表しました。



自治医科大学病理学講座から病理診断科に専攻医として派遣されている樺澤森先生は、久保田と白川の指導の下興味深い症例の発表を行いました。フロアーからの質問にも堂々と回答する姿に、成長を感じました。樺澤先生は分子病理分野のワークカンファレンスにも参加しています。（尾島）